

高知県中村市敷地方言の待遇表現

橋尾 直和

I. はじめに

(1) 調査対象地：中村市は、幡多地域の中心に位置し、経済文化の中核都市としての役割を果たしている。また、清流四万十川河口の町としても有名である。産業は、農業、林業、漁業が盛んで、特に四万十川の恵みが多い。一条教房が整備した中村の町は、土佐の小京都と称されている。調査地点の敷地は、中村の町の中心から北西約2kmのところの位置する。

(2) 調査年月日：1997年3月23日

(3) 話者：武田光生氏 大正11年3月18日生(74歳) 元教員

(4) 調査者・調査場所：橋尾直和、伊予田穰氏宅

(5) 調査方法・調査時の状況：面接調査、古津賀出身の前田重子氏(大正8年生)に同席して頂いた。

(6) 表記方法：注記すべき音声を以下に掲げる。

チ [tʃi], ヒ [çi] (語中), ゼ [ze], ッガ [ᵝga], ッゲ [ᵝge], ッゴ [ᵝgo], ッダ [ᵝda], ッヂ [ᵝdʒi], ッデ [ᵝde], ッド [ᵝdo]。なお、当方言の無声子音に挟まれた狭母音はすべて無声化している。また、イントネーションについては、上昇調のみ記述した。

II. 調査結果

1. 尊敬表現

1-1 対者敬語

- (1) A お前は 「アン」ク
元気かね ッゲ「ン」キナ／ッゲ「ン」キナカッタ
B あなたは 名前を呼ぶ
元気かね ッゲ「ン」キナカッタカ「ノ」ーシ
C あなたは 名前をさん付けで呼ぶ
元気かね ッゲ「ン」キナカッタカ「ノ」ーシ
- (2) A あしたは家に居るか 「アシタ」 ウ「チ」エ 「オ」ル／「オ」ルカエ
B あしたは家に居るか 「アシタ」 ウ「チ」エ 「オイ」デルカ「ノ」ーシ
C あしたは家に居られますか 「アシタ」 オウ「チ」エ 「オイ」デルカ「ノ」ーシ
- (3) A あした行くか 「アシタ イ」ク
B あした行きますか 「アシタ オイ」デルカ「ノ」ーシ
C あした行きますか 「アシタ オイ」デルカ「ノ」ーシ
- (4) A 温泉へ行かないか 「オンセンエ イ」カン

- B 温泉に行かれますか 「オンセンエ オイッデンカノ」ーシ
- C 温泉に行かれますか 「オンセンエ オイッデンカノ」ーシ
- (5) A しますか 「スリヤ」ーア「イ
- B されますか 「シマス
- (6) A 見ましたか ミ「タ」カ「ノ」ーシ
- B 見ましたか ミ「タ」カ「ノ」ーシ
- (7) A ゆうべは何時に寝ましたか 「ユ」ーベワ ナ「ン」ジニ ネ「タ」カ「ノ」ーシ
- B ゆうべは何時に寝ましたか 「ユ」ーベワ ナ「ン」ジニ ネ「タ」カ「ノ」ーシ
- C 寝てください ネ「テ」ノ「ネ」テクダ「サ」イ
- (8) A どこに行っているか ッ「ド」コ イ「キ」ヨル「ガ」
- B どこに行っているか ッ「ド」コ イ「キ」ヨル「ガ」カ 「ノ」ーシ
- C どこに行っていますか ッ「ド」コエ オイ「ッ」デ「ヨ」ルカ 「ノ」ーシ
- (9) A どうぞ食べてくれ 「タ」ベテ「ヤ
- B どうぞ食べて下さい ッ「ド」ー「ソ」 「タ」ベテ「ヤ
- C どうぞ食べて下さい ッ「ド」ー「ソ」 オアガリクダ「サ」イ
- (10) A その写真を私に見せてくれないか 「ソ」ノ「シャ」シンオ ミ「セ」テミ「ヤ
- B その写真を私に見せてくださいますか 「ソ」ノ「シャ」シンオ ミ「セ」テ「ヤ
- C その写真を私に見せてくださいますか 「ソ」ノ「シャ」シンオ ミ「セ」テクダ「サ」イ

1-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう 「ア」シ「タ」ワ「ウ」 「チ」エ オ「ル」ロー
- B あしたは家に居るだろう 「ア」シ「タ」ワ「ウ」 「チ」エ オイ「ッ」デ「ル」ロー
- C あしたは家におられるでしょう 「ア」シ「タ」ワ「ウ」 「チ」エ オイ「ッ」デ「マ」スロー
- (12) A 居なかった オ「ラ」ラ「ッ」タ「チ」ヤ
- B 居なかった オイ「ッ」デ「ラ」ッ「タ」チヤ
- C 居なかった オイ「ッ」デ「ラ」ッ「タ」チヤ
- (13) A そう言った 「ソ」ー「イ」 「ー」ヨ「ッ」タ「ゼ」 「ノ」ーシ
- B そう言った 「ソ」ー「イ」 「ー」ヨ「ッ」タ「ゼ」 「ノ」ーシ
- (14) A 今ここに行っていた 「イ」マ 「ソ」コエ イ「チ」ョ「ッ」タ「ゼ」
- B 今ここに行っておられた 「イ」マ 「ソ」コエ オイ「ッ」デ「チ」ョ「ッ」タ「ゼ」
- C 今ここに行っておられた 「イ」マ 「ソ」コエ オイ「ッ」デ「チ」ョ「ッ」タ「ゼ」
- (15) A 来ている キ「チ」ョ「ル」ゼ
- B 来ている オイ「ッ」デ「チ」ョ「ル」ゼ
- C 来ている オイ「ッ」デ「チ」ョ「ル」ゼ
- (16) A 仕事をしている 「シ」ゴ「ト」オ シ「テ」オイ「ッ」デ「ル」ゼ
- B 仕事をしている 「シ」ゴ「ト」オ シ「テ」オイ「ッ」デ「ル」ゼ

- (17) A 見せてもらった 「ミ」セテモロータ
 B 見せてもらった 「ミ」セテモロータ
 C 見せてもらった 「ミ」セテモロータ
- (18) A 見せてくれた 「ミ」セテクレタ
 B 見せてくれた 「ミ」セテクレタ
 C 見せてくれた 「ミ」セテクレタ
- (19) A 私にくださった ク「レ」タチャ
 B 私にくださった ク「レ」タチャ
- (20) A いただいた モロ「ー」タチャ
 B いただいた モロ「ー」タチャ

11. 謙譲表現

11-1 謙譲表現

- (21) A 私も ウ「チ」モ
 B 私も ワタ「シ」モ
 C 私も ワタ「シ」モ
- (22) A 十分に食べました タロバ「ー」イタッダキマ「シ」タ
 B 十分に食べました 「イ」ッ「パイ」ッゴチソーニナリ「マ」シタ
- (23) A 持ちましょう モトーカ「ノ」ーシ／「モ」ッテアッゲローカ
 (24) A 待たせたね 「タ」イチャー マ「タ」ヒタ「ノ」ーシ
 B お待たせしました 「タ」イチャー マ「タ」ヒタ「ノ」ーシ
 C お待たせしました タイ「テ」ー マ「タ」ヒタ「ノ」ーシ
- (25) A 駅で待っているよ 「エ」キッデ 「マ」チヨル「ゼ」／「マ」チヨルケン
 B 駅で待っていますよ 「エ」キッデ 「マ」チヨルケン「ノ」ーシ
 C 駅で待っていますよ 「エ」キッデ 「マ」チヨルケン「ノ」ーシ
- (26) A 言ってくれ 「ユ」ー「チ」ョイテクレン
 B 言ってくれ 「ユ」ー「チ」ョイテクレンカ「ノ」ーシ
 C 言ってくれ 「ユ」ー「チ」ョイテクレンカ「ノ」ーシ
- (27) A これをやろう 「コレ」 ヤ「ラ」ー
 B これをあげましょう 「コレ」 アッゲル「ケ」ン／「ア」ッゲロー「カ」
 C これをあげましょう 「コレ」 アッゲマ「シ」ョー「カ」

11-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった コ「ー」チャッ「タ」
 B 買ってやった コ「ー」チャッ「ト」ア「イ」
 C 買ってやった コ「ー」チャッ「ト」ア「イ」

- (29) A 主人はもう帰っている 「オヤッヂワ」 モ「ン」チョル「ゼ
 B 主人はもう帰っています 「オヤッヂワ」 モ「ン」チョリマス

111. 丁寧表現

- (30) A 行くよ イ「ク」ゼー
 B 行きます イキ「マ」ス
- (31) A 寒いね 「ヒ」ヤイ「ネ」ー
 B 寒いね 「ヒ」ヤイ「デ」ス「ネ」ー／サ「ム」イ「デ」ス「ネ」ー
 C 寒いですね サ「ム」イ「デ」ス「ネ」ー／サ「ム」ー「ゴ」ザイマス「ネ」ー
- (32) A 居るよ オ「ル」ゼー／オ「ル」ヨー／オ「ル」オ「ル」
 B 居ます オリ「マ」ス
- (33) A よかったね ヨ「カ」ツ「タ」ネ「ー」
 B よかったですねえ ヨ「カ」ツ「タ」ノ「ー」シ
 C よかったですねえ ヨ「カ」ツ「タ」ノ「ー」シ
- (34) A そうか ソ「ー」カ
 B そうですか ソ「ー」カノ「ー」シ
 C そうですか ソ「ー」デノ「ー」シ

1V. 人間関係に応じた待遇表現

1V-1 特定表現の待遇表現

- (35) その角を曲がっていくと～ 「ソノカ」ド「ラ」 「マ」ッ「ガ」ツ「テ」 「ミ」ッ「ギ」エ「」 イ「ッ」タ「ラ」
 (36) とんでもない N R

1V-2 多人数場面の待遇表現

- (37) 「ヤ」ラ「ヒ」テモライマ「シ」ョ「ー」カ
 (38) 今度の旅行には参加者が少ないので皆さんに参加してほしい 「コ」ドノ「」 リョ「コー」
 「ニ」ワ 「イ」クヒト「ッ」ガ スク「ナ」イケン ミン「ナ」ッ「ガ」 イテモラエ「ン」ローカ

1V-3 位相による待遇表現

- (39) 1. お寺の住職さん (A)「オ」ハヨ「ー」ゴザイ「マ」ス
 (B)「ド」チラエ オイ「デ」デ「ス」カ
 2. 校長先生 (A)「オ」ハヨ「ー」ゴザイ「マ」ス
 (B)「ド」チラエ オイ「デ」デ「ス」カ
 3. 見知らぬ年配の男性 (A)「オ」ハヨ「ー」ゴザイ「マ」ス
 (B)「ド」チラエ オイ「デ」デ「ス」カ
 4. 見知らぬ年配の女性 (A)「オ」ハヨ「ー」ゴザイ「マ」ス
 (B)「ド」チラエ オイ「デ」デ「ス」カ

- | | |
|---------------------|--|
| 5. 顔見知りの年上の男性 | (A)「オ」ハヨ「ー」ゴザイ「マ」ス
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ヨリヤ「ー」ノ「ー」シ「ノ」 |
| 6. 顔見知りの年上の女性 | (A)「オ」ハヨ「ー」
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ヨリヤ「ー」ノ「ー」シ「ノ」 |
| 7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性 | (A)「オ」ハヨ「ー」
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ヨル「ノ」 |
| 8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性 | (A)「オ」ハヨ「ー」
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ヨル「ノ」 |
| 9. 同級生の男性 | (A)「オ」ハヨ「ー」
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ノ |
| 10. 同級生の女性 | (A)「オ」ハヨ「ー」
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ヨルガ「ノ」 |
| 11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性 | (A)「オ」ハヨ「ー」
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ヨリヤ「ー」ネ「ー」ノ |
| 12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性 | (A)「オ」ハヨ「ー」
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ヨリヤ「ー」ネ「ー」ノ |
| 13. 近所の中学生の男の子 | (A)「オ」ハヨ「ー」
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ヨル「ノ」 |
| 14. 近所の中学生の女の子 | (A)「オ」ハヨ「ー」
(B)「ッ」ド「コ」イ「キ」ヨル「ノ」 |

Ⅲ. 総括（まとめ）

本方言の待遇表現のうち、特筆すべきもののみまとめると、以下のとおりである。

- (1)文末助詞「ノーシ」は、年長の人と目上の人に対して用いられ、待遇価が高い。
- (2)尊敬動詞では、「行く」「来る」「居る」の敬語として、「オイッデル」が多用される。
- (3)助詞「アイ」（「どうですか」と軽く念を押す意）が、年長の人と目上の人に対して用いられる。
- (4)「どこへ行くのか」を、お寺の住職さん、校長先生、見知らぬ年配の男性・女性に対しては、「オイッデル」+「ッデスカ」、顔見知りの年上の男性・女性に対しては、「イキヨルカ」+「ノーシ」が用いられており、位相差がみられる。

（はしお なおかず 高知女子大学文学部）